

令和5年度 第2回 砂丘小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年6月27日（火） 14時00分から16時00分まで
- 2 開催場所 砂丘小学校 コミュニティルーム
- 3 出席委員 小林 あけみ、岡本 千香、中村 和夫、川嶋 利博、西尾 進治、
高橋 友子、高島 大輔、鈴木 ふじ子、高野 朋子、鈴木 康介
- 4 学校支援コーディネーター 高須 奈津子
- 5 学 校 青島 秀典（校長）、櫻井 利幸（教頭）、越川 真優子（CSディレクター）
- 6 オブザーバー 白脇協働センター 石塚 訓岳
- 7 傍 聴 者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 越川 真優子
- 9 副会長の選出

副会長の選出について西尾会長から高島委員を指名する旨の発言があり、高島副会長を選出した。

10 議長の選出

西尾委員が、本日の議長を務めることを申し出、全員異議なく西尾会長を選出した。

11 協議事項

「魅力ある学校」をめざして ～地域とともに～

12 会議記録

西尾会長から、委員総数10人のうち9人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。（途中からの出席者ありで10名出席）

「魅力ある学校」をめざしてとしたテーマで、校長から別紙資料に基づき、学校の現状とこれからの学校運営について説明があり、2つのグループに分かれ意見を出し合った。グループからは、以下の発言があった。

【グループ1】西尾委員、高野委員、小林委員、岡本委員、川嶋委員、中村委員

・現状は、放課後児童会の待機児童数がゼロであり、児童が落ち着いていてけんかが少ないと感じる。

- ・みんなが主役であるため、中学校進学時にすぐにリーダー体験が生きる。即戦力となる。
- ・児童数の減少に対する対策として安全な通学の確保、1年生からの英語教育（ICTでの英語）学校見学日の設定、インスタグラム、ツイッターでの情報発信を検討してはどうか。

《発信方法》

- ・参観会に未就学児を呼ぶ（アピール方法として、口コミ、店舗への掲示、地域回覧、白脇協働センターの活用）
- ・保育所や幼稚園に案内を配布したり、学校公開日を知らせる。

【グループ2】高島委員、鈴木康委員、鈴木ふ委員、高橋委員

- ・砂丘小学校の児童1人ひとりをよく見ている教育等、良い点というのはすでに把握できている。
- ・オンライン授業では、相手の話を聞きたいためによく聞く様子が見られるとのこと。保護者としては、複式であってもオンラインで単一学年での授業が可能であるのならそれを希望する。

《発信方法》

- ・ 口コミが一番である。日頃から新聞社等に取材に来てもらうようアピールしておく。
- ・ ホームページはフォーマットが固定化したため、限界がある。
- ・ 白脇協働センターだより（QRコード）を活用して、放課後児童会の魅力発信、待機児童数ゼロをアピールする。
- ・ 放課後児童会のように体操教室等の開催を検討してはどうか。

【全体】

- ・ 放課後児童会の待機児童なしを保護者に対して積極的に行っていくことが大事である。（鈴木康委員）
- ・ 自治会のお祭り等で砂丘小学校の案内コーナーを作って写真等の展示を行ってはどうか。また、民生委員での会合でアピールするための資料を持参してもよい。（小林委員）
- ・ みんなそれぞれの立場があるので、それを生かせるよう活動していく。（西尾委員）

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

その他報告事項等

学校支援コーディネーターから夏休み中に3講座を開講予定。

7月24日にプロサーファーを講師に迎えて「海の講座」

7月27日に「ポスター講座」

8月1日にかにパンお姉さんと楽しく学ぼう「お楽しみ講座」

※高学年の参加を促すためにボランティアをしながら活動に参加できればよい。

花壇活動は、年間活動カレンダーをもとに予定どおり活動している。ハウスの雨漏りについて解消策の案があれば意見をいただきたい。

教頭から、次回会議は、令和5年10月24日（火）午後2時からコミュニティルームで開催する旨の報告があった。